

地震発生時の児童生徒の安全確保のために —あらゆる事態を想定して—



三木市立豊地小学校の研修の様子

1. 研修の目的

在校中の地震発生に備え、あらゆる事態を想定し、教職員が果たすべき役割を教職員間で共通理解する中で、危機管理意識の向上を図り、児童生徒の安全確保の徹底に活かす。

【この研修により生み出される効果】

- 全ての教職員が災害時の役割を共通理解することで、意識向上につながる。
- あらゆる事態を想定した対策をとっていれば、災害時に臨機応変に対応できる。
- マニュアルの内容を再認識し、新たに記載しておくべき点を明らかにできる。
- 担当教職員の不在時の対応に活かせる。
- 学校災害対策本部の各班の連携が大切なことに気付くことができる。

2. 研修の進め方

- (1) 《説明》研修の進め方【3分】
- (2) 《ステップ1》災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校（引き渡し）までに、考えられる状況を、各自がポストイットに記入【7分】
（例）
避難途中、余震により、廊下のガラス破損
- (3) 《ステップ2》班内で、ポストイットに書いた内容について、対策が必要な点を確認【7分】
※「災害対応マニュアルの在校中の対応」のページを模造紙大にしたものに対策が必要な点を書き加える。
（班長司会）
- (4) 《ステップ3》全体でマニュアルへの追加点等を確認し共有【7分】
※役割として新たに備えておくべき点を確認する。
（副班長発表）
- (5) 《ステップ4》各班ごとの役割等を確認【5分】
（班長司会）
- (6) 《まとめ》学校防災体制の一層の充実に向けて【1分】

3. 災害の状況設定

【災害の状況】

発生日 平成27年2月13日(木)

発生時間 11:00(3校時目)

地震の震度 震度7

(その他追加する状況を記載)



阪神・淡路大震災時の被害状況



東日本大震災時の被害状況

(参考)

震度7の状況……立っていることができず、はわなないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛びこもある。壁、梁、柱などの部材にひび割れ、亀裂がさらに多くなる。大きな地割れが生じることがある。(気象庁ホームページより)

《ステップ1》

災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校（引き渡し）までに、考えられる状況を、各自がポストイットに記入。【7分】

※児童生徒、建物や非構造部材、地域の状況に関することであらゆる事態を想定して考える。

(例)

・避難途中に考えられることとして

避難途中、余震により、廊下のガラス破損

・配慮を要する子どもの対応として

車いすを使っている生徒が避難できない

・下校判断時に考えられることとして

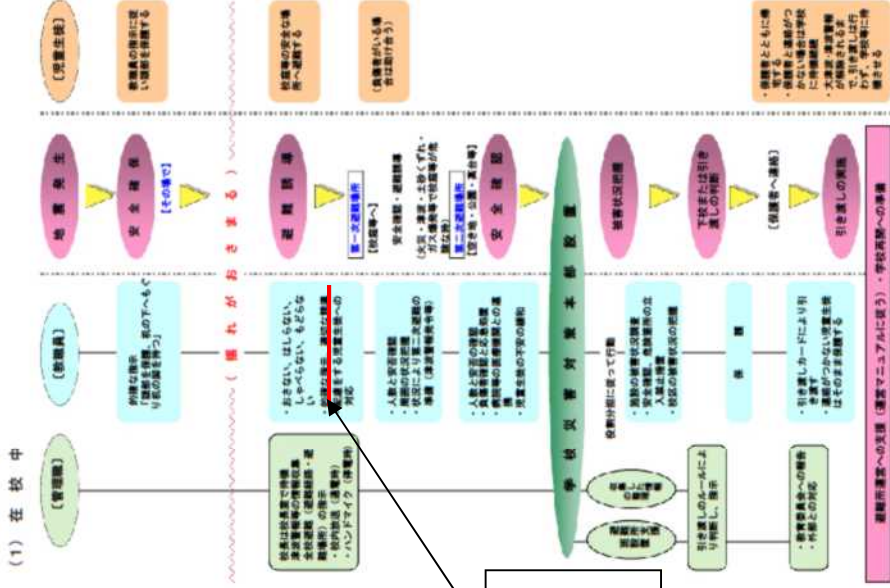
公共交通機関がストップし、下校できない

《ステップ2》

班内で、ポストイットに書いた内容について、対策がとられているか確認し、対策が必要な点を書き加える。【7分】

3 地震・津波発生時の基本的対応

(1) 在校中



「余震も考慮し」を加筆

(在校中の地震発生に備えて日頃から実施しておくこと)

実施中の対応 (対応の基本)	実施後の対応 (第二次避難場所含む) を実施しておくこと。
安全確保 ・多くの児童・生徒が避難場所を指定して机の下にもぐり、机の下に隠れる。机の下に隠れず、机の横や壁際へ寄りかかると危険。 ・避難経路を確認し、安全な場所に避難する。 ・机の下に隠れず、机の横や壁際へ寄りかかると危険。 ・机の下に隠れず、机の横や壁際へ寄りかかると危険。 ・机の下に隠れず、机の横や壁際へ寄りかかると危険。	・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。
避難経路 ・避難経路を確認し、安全な場所に避難する。 ・避難経路を確認し、安全な場所に避難する。 ・避難経路を確認し、安全な場所に避難する。	・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。
安全確認 ・避難後、安全確認を行う。 ・避難後、安全確認を行う。 ・避難後、安全確認を行う。	・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。
下校後 ・下校後、避難場所を確認し、安全な場所に避難する。 ・下校後、避難場所を確認し、安全な場所に避難する。 ・下校後、避難場所を確認し、安全な場所に避難する。	・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。
引き出し ・引き出しの取扱いを確認し、安全な場所に避難する。 ・引き出しの取扱いを確認し、安全な場所に避難する。 ・引き出しの取扱いを確認し、安全な場所に避難する。	・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。 ・避難場所の指定は、避難場所の指定を徹底し、安全な場所に避難する。

公共交通機関等の運行状況などを加筆

《ステップ3》

全体でマニュアルへの追加点等を確認し共有【7分】

- 各班1分程度でマニュアルへの追加点等を発表。
- 各自の災害対応マニュアルに加筆する。

《ステップ4》

各班ごとと役割等を確認【5分】

※班ごとに役割を確認
加筆点を班内で共有

(2) 学校災害対策本部の業務内容例

被害状況によっては、救急が使えなかったり、必要物品が備わらないことも考えられる。また、停電等により情報収集が円滑にできない場合も考えられ、本部の立ち上げには、連絡応要な対応が求められる。児童生徒の引き渡しや、学校施設が避難所となる場合など、緊急時の円滑・迅速な対応に向けて、事前に関係者や地域住民とのルールを決めておく。

班名	業務内容	主な備品
対策本部	<ul style="list-style-type: none"> 避難所、避難所指定、指示 班ごとの役割分担 班長・副班長の選出 班員名簿の作成と配布 班員の名簿と連絡先を把握し、PTA等に連絡 班員名簿の更新、必要な物品を確保 班員名簿の管理・更新 班員名簿の更新・更新 班員名簿の更新・更新 班員名簿の更新・更新 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話 無線機 伝言板 ハンデライク 班中電灯 緊急活動の日誌 トランシーバー 班中電灯
安全確認・避難誘導	<ul style="list-style-type: none"> 班長が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの出退室(各階) 伝言板(メガホン) ホイッスル 班中電灯
安全確認・消火	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
緊急医療	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
救護	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班長	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯
班員	<ul style="list-style-type: none"> 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 班員が班内を巡回し、班員の健康を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 班中電灯 班中電灯 班中電灯

(児童生徒及び教職員の安全確認、警報の発表状況、校区の被害状況、公共交通機関の運行状況等)

避難に配慮を要する生徒の避難補助

*上段については、あくまでも例であり、学校状況や状況によっては必要な範囲内の優先順位を決めて実施する。

《おわりに》

日頃から危機管理意識を高め、
子どもたちの安全確保に努めましょう。

【基礎編】地震発生時の児童生徒の安全確保のために —あらゆる事態を想定して—

1. 研修のねらい

この研修パッケージは、在校中に地震発生した場合の被害等について、あらゆる事態を想定し、教職員が果たすべき役割を教職員間で共通理解する中で、危機管理意識の向上を図り、児童生徒の安全確保に活かすためのものです。

【この研修により生み出される効果】

- 全ての教職員が災害時の役割を共通理解することで、日頃の意識向上につながる。
- あらゆる事態を想定した対策をとっていれば、災害時に臨機応変に対応できる。
- マニュアルの内容を再認識し、新たに記載しておくべき点を明らかにできる。
- 担当教職員の不在時の対応に活かせる。
- 学校災害対策本部の各班の連携が大切なことに気付くことができる。

2. 進行上の留意点

- (1) 研修資料に沿って進行する。
- (2) 災害の状況設定では、発生日、曜日、発生時間について季節等を考慮し、各学校で設定する。休み時間の設定も可です。
(追加する状況を記載) 欄には、校区の災害特性を追加記載してください。
その際、例えば、南海トラフの巨大地震による津波が予想される地域では以下のように設定する。
例「校区は、市防災部局が示す津波浸水域に入っているが、学校の所在地は津波浸水域にはなっていない。学校のある神戸市は南海トラフの巨大地震発生時には、90分で1mの津波が到達し、最大で4mの津波が到達することが予想されている」
- (3) 研修班は、学校災害対策本部の班編制とし、人数が少ない場合、複数班を1グループとして進めてもよい。ただし、意見を活発に出させるため、1班の人数が10名を超えないようにする。
- (4) 研修形態は、班ごとに机を囲んだ研修形態とし、模造紙を広げられるように設定する。
- (5) 各自のポストイットへの記入は、災害対応マニュアルに頼らずに、イメージ湧かせて考えさせる。
- (6) 班内での活発な意見交換がなされるよう、机間巡視により適宜助言する。
- (7) 時間は概ね30分で構成されているが、時間の確保ができれば、班での役割を確認する時間を増やすなど研修の充実を図る。
- (8) 研修終了後は、災害時の各班の対応に使う必要物の確認等に活かすなど工夫するとともに、休日等の対応についても各校で内容を改編し研修を図るなど、災害時の対応の充実を図る。

3. 事前の準備物

- 災害対応マニュアル (各自準備)
- 幅25mmのポストイット (1人20枚×人数分)
- 災害対応マニュアル記載の学校災害対策本部各班の役割及び在校中の災害発生時の対応 (班数分)
※A3版～模造紙大に拡大した用紙
- 実物投影機1台 (A3版にコピーして活用した際に使用)
- パソコン
- プロジェクタ
- スクリーン
- マジック

スライド (時間の目安)	進行原稿等
<p>スライド 1 (0:00:00～0:00:20)</p> <div data-bbox="153 304 772 766" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>防災校内研修資料</p> <p style="text-align: center;">地震発生時の児童生徒の安全確保のために —あらゆる事態を想定して—</p>  <p style="text-align: right;">兵庫県教育委員会事務局 教育企画課</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">三木市立豊地小学校の研修の様子</p> </div>	<p>これから、防災校内研修会を始めます。</p> <p>今日は、地震発生時の児童生徒の安全確保のためにあらゆる事態を想定して一と題して、研修を行います。</p>
<p>スライド 2 (0:00:20～0:01:00)</p> <div data-bbox="153 949 772 1420" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3>1. 研修の目的</h3> <p style="text-align: center;">在校中の地震発生に備え、あらゆる事態を想定し、教職員が果たすべき役割を教職員間で共通理解する中で、危機管理意識の向上を図り、児童生徒の安全確保の徹底に活かす。</p> <div data-bbox="169 1155 746 1370" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【この研修により生み出される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員が災害時の役割を共通理解することで、意識向上につながる。 ○あらゆる事態を想定した対策をとっていれば、災害時に臨機応変に対応できる。 ○マニュアルの内容を再認識し、新たに記載しておくべき点を明らかにできる。 ○担当教職員の不在時の対応に活かせる。 ○学校災害対策本部の各班の連携が大切なことに気付くことができる。 </div> </div>	<p>研修の目的は、昨今、南海トラフ巨大地震や山崎断層地震等、兵庫県内に被害を与える地震の発生が危惧されており、学校は、災害が起きたとき児童生徒等の安全を確保することが何より求められています。そのため、在校中の地震発生に備え、あらゆる事態を想定し、我々教職員が果たすべき役割を教職員間で共通理解する中で、危機管理意識の向上を図り、子どもたちの安全確保の徹底に活かすためのものです。</p> <p>この研修により生み出される効果として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員が災害時の役割を共通理解することで、日頃の意識向上につながる。 ○あらゆる事態を想定した対策をとっていれば、災害時に臨機応変に対応できる。 ○マニュアルの内容を再認識し、新たに記載しておくべき点を明らかにできる。 <p>等という点が挙げられます。</p>
<p>スライド 3 (0:01:00～0:02:00)</p> <div data-bbox="153 1568 772 2033" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3>2. 研修の進め方</h3> <ol style="list-style-type: none"> (1) 【説明】研修の進め方【3分】 (2) 【ステップ1】災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校(引き渡し)までに、考えられる状況を、各自がポストイットに記入【7分】 (例) 避難途中、余震により、廊下のガラス破損 (3) 【ステップ2】班内で、ポストイットに書いた内容について、対策が必要な点を確認【7分】 ※「災害対応マニュアルの在校中の対応」のページを模造紙大にしたものに対策が必要な点を書き加える。 (班長司会) (4) 【ステップ3】全体でマニュアルへの追加点等を確認し共有【7分】 ※役割として新たに備えておくべき点を確認する。 (副班長発表) (5) 【ステップ4】各班ごとの役割等を確認【5分】 (班長司会) (6) 【まとめ】学校防災体制の一層の充実に向けて【1分】 </div>	<p>研修は進め方として、</p> <p>《ステップ1》この後に示す災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校(引き渡し)までに要する時間で、児童生徒に関すること、建物や非構造部材に関すること、地域の状況に関することと考えられる状況を、各自がポストイットに記入します。時間は7分とります。</p> <p>《ステップ2》班内で、ポストイットに書いた内容について、対策がとられているか災害対応マニュアルの確認をします。模造紙大のものに必要な点を記入します。班長が進めてください。時間は7分とります。</p> <p>《ステップ3》全体でマニュアルへの追加点等を確認し共有します。各班から追加点等を1分程度で発表していただきます。副班長が発表してください。</p> <p>《ステップ4》各班ごとの役割等の確認をマニュアルをもとに改めて確認していただきます。班長が進めてください。時間は5分です。</p> <p>このような流れで研修を進めます。</p>

スライド (時間の目安)

進行原稿等

スライド4 (0:02:00~0:03:00)

3. 災害の状況設定

【災害の状況】

発生日 平成27年2月13日(木)

発生時間 11:00(3校時目)

地震の震度 震度7 (その他追加する状況を記載)



阪神・淡路大震災時の被害状況



東日本大震災時の被害状況

(参考)

震度7の状況...立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛びこもある。壁、梁、柱などの部材にひび割れ、亀裂が空らに多くなる。大きな地割れが生じることがある。(気象庁ホームページより)

まず、災害の状況ですが、2月13日(木)の冬の季節と設定しています。時間は、3校時目の11:00、学校ある地域に震度7の地震が発生したという想定です。

震度7を記録した阪神・大震災では、校舎の壁や窓ガラスの破損、東日本大震災では、学校昇降口の下駄箱が倒れるなどの被害も出ています。ちなみに、震度7は、立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛びこもある。という状況が予想されます。

※発生日、曜日、発生時間については、季節等を考慮し、各学校で設定してください。休み時間の設定も可です。
※(追加する状況を記載)欄には、校区の災害特性を追加して記載して結構です。

その際、例えば、南海トラフの巨大地震による津波が予想される地域では以下のように設定する。

(例)「校区は、市防災部局が示す津波浸水域に入っているが学校の所在地は津波浸水域にはなっていない。学校のある神戸市は南海トラフの巨大地震発生時には、90分で1mの津波が到達し、最大で4mの津波が到達することが予想されている」

スライド5 (0:03:00~0:10:00)

《ステップ1》

災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校(引き渡し)までに、考えられる状況を、各自がポストイットに記入。【7分】

※児童生徒、建物や非構造部材、地域の状況に関することであらゆる事態を想定して考える。

(例)

・避難途中に考えられることとして

避難途中、余震により、廊下のガラス破損

・配慮を要する子どもの対応として

車いすを使っている生徒が避難できない

・下校判断時に考えられることとして

公共交通機関がストップし、下校できない

それでは、研修に入ります。

災害の状況設定をもとに、在校中での地震発生時から児童生徒の下校(引き渡し)までに要する時間で、考えられる状況を、各自がポストイットに記入します。

こんな状況も考えられるのではないかとという視点から、例えば、避難途中、余震により、廊下のガラス破損する、とか、車いすを使っている生徒が避難できないなど、あらゆる事態を想定し、ポストイットに記入してください。

マニュアルに頼らず、考えてください。

ポストイットが足りなければ申し出てください。

時間は7分とします。

(7分後)

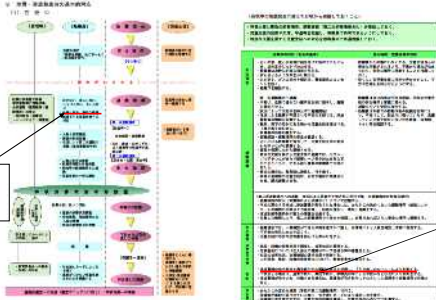
それでは、時間になりましたので、次に移ります。

スライド6 (0:10:00~0:17:00)

《ステップ2》

班内で、ポストイットに書いた内容について、対策がとられているか確認し、対策が必要な点を書き加える。【7分】

(例)



「余震も考慮し」を加筆

公共交通機関等の運行状況を考慮することを加筆

皆さんにポストイットに書いた内容について、班内で、対策がとられているか確認し、対策が必要な点を書き加えます。

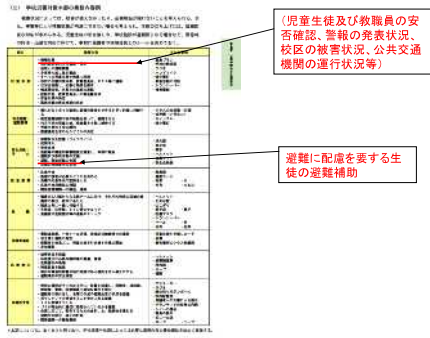
(A3版から模造紙大に拡大した用紙)の災害対応マニュアル記載の在校中の地震発生への対応に、対策が必要な点をマジックで書き加えてください。

各班の班長さんが中心となって進めてください。

時間は、7分とします。

(7分後)

それでは、時間になりましたので、発表に移ります。

スライド (時間の目安)	進行原稿等
<p>スライド7 (0:17:00～0:24:00)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《ステップ3》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>全体でマニュアルへの追加点等を確認し共有【7分】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各班1分程度でマニュアルへの追加点等を発表。 ・各自の災害対応マニュアルに加筆する。 </div>	<p>新たに必要対策として追加した内容について、各班1分程度で発表していただきます。</p> <p>その際、皆さんは、各自お持ちのマニュアルにメモ願います。</p> <p>それでは、本部からお願いします。</p> <p>(順に指名)</p>
<p>スライド8 (0:24:00～0:29:00)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《ステップ4》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>各班ごとの役割等を確認【5分】</p> </div> <p>※班ごとに役割を確認 加筆点を班内で共有</p>  </div>	<p>それでは、各班の役割を班ごとに確認していただきます。</p> <p>模造紙大(もしくはA3版)の学校災害対策本部の各班の業務内容に、各班から出された必要な対応について、確認いただき、必要があれば加筆してください。</p> <p>なお、皆さんは、各自のマニュアルにも記載しておいてください。</p> <p>また、各班の班長さんが中心となって進めてください。</p> <p>時間は5分となります。</p>
<p>スライド9 (0:29:00～0:30:00)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《おわりに》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>日頃から危機管理意識を高め、 子どもたちの安全確保に努めましょう。</p> </div> </div>	<p>それでは、本日、短時間ですが、災害時に対応について研修をしていただきました。</p> <p>最後に、校長先生から、研修の総括をいただきます。</p> <p>(総括)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、研修を終わります。</p>

